

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成 24 年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	23	35	63	140

2 決算規模

平成 24 年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成 24 年度(A)	平成 23 年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,053,012	1,063,081	99.1
歳 出	1,012,733	1,022,157	99.1
差 引	40,279	40,924	98.4

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成 24 年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、402 億 7 千 9 百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源 90 億 9 百万円を差引いた実質収支は、312 億 7 千万円で、前年度と比べて 6 億 1 千 1 百万円減少した。

イ 実質収支をみると、140 の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ 1 億 3 千 4 百万円増加し、5 億 6 千 3 百万円の赤字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて 10 億 8 千万円減少し、100 億 4 千 9 百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は 114 億 7 千 1 百万円で前年度と比べて 2 億 5 千 3 百万円増加し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は 44 億 5 千万円で前年度と比べて 3 億 6 百万円減少した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は 53 億 1 千万円で前年度と比べて 11 億 6 千万円増加した。